



IOSCO/MR/24/2021

マドリード、2021 年 10 月 4 日

IOSCO による投資者教育及び投資者保護を強化するための第5回世界投資者週間の開幕について

証券監督者国際機構(IOSCO)は、本日、第 5 回世界投資家週間を開始した。これは、世界中の証券監督当局および IOSCO の利害関係者によって支援されたグローバルなキャンペーンである。G20 イタリア議長は、2021 年の IOSCO WIW を支持している。

2021 年 10 月 4 日から 10 日にかけて、証券当局者、取引所、世界および地域の金融機関、その他の利害関係者が、参加者の法域における投資家教育及び投資家保護の重要性についての認識を高めるために、一連の教育活動を実施する。

ニュージーランドで本日始まったこの活動は、投資家教育・投資家保護という現在重要な金融市場活動の開始を示す象徴的な動きであり、投資家向けの資料の公表から、オンラインウェビナー、バーチャルあるいは個人のカンファレンス、その他のイベントの開催まで、パンデミック関連の状況に応じてさまざまである。過去に実施したキャンペーンと同様に、国際取引所連合(WFE)は「金融リテラシーのための鐘を鳴らす」式典を行い、世界中の取引所と清算機関が参加する。

第 5 回世界投資者週間では、一部の IOSCO メンバーが、世界中の個人投資家にとって共通の関心事となりうる投資家教育及び投資家保護に関するトピックについて、より幅広い聴衆に向けて、地域およびグローバルなウェビナーを提供している。専用のキャンペーンウェブサイト(www.worldinvestorweek.org)は、地域および地域/グローバルのイベントに関する追加情報を提供している。

2021 年の IOSCO 世界投資者週間キャンペーンの主要メッセージは、1)持続可能な金融と 2)詐欺・詐欺防止という 2 つのテーマに基づいている。これらのメッセージは、オンライン投資、デジタル学習および投資の基本に関して、過去に実施した IOSCO 世界投資者週間のメッセージを補完するものである。

IOSCO 理事会議長で香港証券先物委員会の Chief Executive Officer であるアシュリー・オルダー氏は、「金融教育は、地域および世界の投資家保護を支援するための鍵である。2021 年の世界投資者週間は、個人投資家が適切な情報に基づいて金融市場に参加することを可能にする金融教育イニシアティブに対する IOSCO の確固たるコミットメントを強調している。これは、この困難な時期に特に重要である」と述べた。

IOSCO 事務局長のマーティン・モロニー氏は、「個人投資家保護は、IOSCO のワークストリームがカバーする多くの問題を横断している。個人投資家に関する委員会が金融教育と個人投資家保護の強化を促進するために継続的に取り組むことは、IOSCO のすべての業務の基礎である」と述べた。

NOTES TO THE EDITORS については省略。